

クラウドやテレワーク導入支援で真の働き方改革を推進 如水グループ

児玉 邦康 グループ統括代表
大分県佐伯市出身。1972年7月生。47歳。立教大学経済学部卒。趣味はプログラミング



早田 晋一 社会保険労務士事務所代表
福岡市出身。1975年1月25日生まれ。44歳。一橋大学法学部卒。趣味は街歩き



会計監査、税務や労務、ＩＰＯなどのコンサルティングに携わる如水グループ（福岡市中央区赤坂1丁目）は、緊急事態宣言発令前から、オンラインのチヤット掲示板などを使い、グループ内の情報共有、一元化に向けた社内環境の整備に着手。企業から資金繰りや雇用関連の相談案件が増えるなど対応に追われたものの、「事前の対応の成果で、日々更新される助成金や支援金などの情報に対応して、ボイントを整理し、混乱なく発信することができた」と児玉邦康

統括代表は胸を張る。

5月には、グループの税理士法人、社会保険労務士事務所が福岡市テレワーク促進事業のサポート企業に選ばれた。社労士事務所ではテレワークを想定などのコンサルを実施しており、導入を希望する中小企業や小規模事業者には必要経費の大10万円が福岡市から支給されるという。早田晋一同事務所代表は「労務の専門的な相談のほか、顧客向けのオンラインセミナーなどを通じ、テレワーク導入を促進したい」と意気込む。また、同グループでは近年、税理士法人を中心に会計などのクラウドツールや、チャットシステムの導入を推進。今回の新型コロナ拡大に伴い「オフィスに頼らないビジネス環境の変化で、クラウド活用の需要が増えた」と児玉代表。収束後についても「IT、ICT化で生産性向上や業務効率化を図った企業が、成長速度をさらに早める。真の働き方改革をグループ全体で支援したい」と地場企業のビジネス